

～ご質問・ご回答用紙～

次の質問に空欄の範囲内で簡潔にお答えください。(4/17までにお手数ですがご郵送下さい)
(そのまま縮小コピーし掲載いたします。掲載順は五十音順)

お名前：渡辺 俊夫

回答日：平成21年 4月 16日

1、北アルプス広域連合のアンケート調査で、建設反対が建設賛成を上回りました。

理由は何だとお考えですか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ①計画の情報公開が不足していたから | ②グリーンスポーツの横だから |
| ③広域連合の大型のごみ処理施設だから | ④自然観光地白馬には不向きだから |
| ⑤景観が悪くなるから | ⑥村の財政の問題のため |
| ⑦活断層など危険な場所だから | ⑧健康・農業被害が心配なため |

⑧その他：焼却炉製造を始めとする関係業者主導の「建設ありき」を前提とする計画の立案及び推進に関わる行政手法への不信感が住民の間に高まったから。

2、あなたが最初に取り組みたい「ごみ問題」は何でしょうか？(1つのみ選択)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①ごみの減量化 | ②生ごみの堆肥化 |
| ③徹底したごみの分別 | ④収集方法の改善 |
| ⑤広域化を前提に建設予定地を早急に決める | ⑥住民も含めたごみ問題検討委員会を早急に作る |
| ⑦その他： | |

3、あなたはごみ処理施設をどのように建設されることを希望しますか？(1つのみ選択)

- | |
|---------------------------------|
| ①北アルプス広域連合主体で1つ建設 |
| ②北アルプス広域連合主体で2つ建設(大町/白馬・小谷の2カ所) |
| ③白馬・小谷両村主体で1つ建設 |

④その他：ごみ処理の方針そのものが問われているのが現在の状況であると認識していますので、処理施設の新規建設についての具体的な希望はありません。尚、ごみ処理は広域によらず、各自治体が責任を持つことが基本であると考えています。

4、この2年間のゴミ処理場建設問題に対する広域連合の住民への説明についてどう思いますか？

焼却炉製造業者及び関係者の意向を強く受けた「建設ありき」「計画ありき」の説明に終始してしまいました。広域連合とは「誰のため」「何のため」のものなのか大きな疑念を抱きました。

5、今後の「ゴミ処理計画」の進め方や意見集約はどうあるべきだとお考えですか。

透明性の確保された「住民を含む検討委員会」を設置し、“燃やすことを前提としない”ごみ処理を基本に据えて、計画の抜本的な見直しを行った後、新たにごみ処理計画を立案し、情報公開を必須条件としながら計画を推進する。

6、その他ご自由にご意見をお書きください。

ごみ処理は自治体運営の基本理念に大きく関わる事業であり、自治体の「生き方」そのものが問われます。次期議会には、この計画の決定及びその推進にあたって重大な責任が課せられます。